

上信越山行のエピソード 2011/10/14～18

1 高峰高原ホテルの蕎麦打ちするシェフ

黒斑山登山口にある高峰高原ホテルの売店へ入りトイレを借りました。 登山前のため何も買ったり食べたりする予定が無いがお茶を入れて勧めてくれました。 遠慮していたが余り勧められるので有りがたくいただきました。温かいお茶でした。 ”下山の頃には蕎麦が打って有る”ので是非寄ってくれる様に言われていましたが、下山後もまたトイレを借りただけで、蕎麦は食べませんでした。 またお茶をいただきました。 頭の低い感じの良い定員？シェフとオバ（オジ）タイアンとの観光客の少ない平日のやりとりでした。

（尚 余りに申し訳無いので少しの土産物を買いました。やっぱり向こうの戦略にはまった事になりました？）

2 無料のパンの耳

黒斑山下山後の移動途中に軽井沢のコンビニに寄りました。翌15日の昼食用のパン等を買う予定でした。 皆それぞれに買い物を終えてレジの横を見ますと”ご自由にお持ちください”と一斤の袋に入ったパンの耳が3袋ありました。 無料で置いて有る事は大変珍しいと思いました。小学校の頃給食の残ったパンの耳を揚げてもらって砂糖をまぶしてよく食べた事を思い出しました。 でもあえてこの時貰う事はしませんでした。 Kさんは二袋もらえば良かったとしきりに言いながらパンの耳を美味しそうに食べてみんなに勧めていました。 下山後で空腹感があったのか皆美味しく食べた様です。 節約旅行はパンの耳から・・・(*^_^*)

3 入場料が高かった鬼押し出

白根山へ移動に通った万座パークウエーに観光地「鬼押し出」が有りました。 雨模様の天気、時間も3時頃で入場口まで行って、入園料600円に怖じ気づき引き返しました。 m(_ _)m

4 民宿こいけの生焼けに思えた”あゆ”

民宿こいけは草津温泉湯畑の有る中心部からそんなに遠くない所に有りました。 小綺麗でお風呂も掛け流しで外湯へ入らなくても温泉気分は楽しめました。 夕食は6：30頃から、和食の献立で”あゆ”が一尾形良く焼き上がっていました！私にとっては十分過ぎる夕食です！

不満はありません！ しかしTさんは少し不満の様子で、ちょっと冷えたあゆにはしを着け「これ焼けてないね」と厨房に・・・「焼けてますよ！暖めなおしましょうか？」宿の人。何でも素直に言葉に出す彼女にドキットした一瞬でした。料理に関しては彼女は”プロ” 私には魚の焼け具合は良く分からなかったが美味しくいただきました。 我が家では出された食事に一切不満を言わない事になっているのですから・・・(@_@)



5 土砂降りで始まった草津温泉の散策（湯畑、温泉饅頭）

2日目（15日（土））は朝から雨でした。臨機応変に山行予定を入れ替えたのはさすが！！山旅に慣れた山温エキスパートの技でしょう。宿の変更など段取りは大変だったと思います。

土砂降りの雨は10分ほど歩いて湯畑に着いた頃には小雨となりました。泉源から湧きだした湯が川の上に作られた50m程の木製の何本もの水路を流れ端から滝になって落ちる様は迫力がありました。（後で調べると岡本太郎の作とか！）昔ながら温泉街と違和感無く感じられる作品で。湯畑で温泉の迫力をもらった後は温泉街を西の河原の露天風呂まで散策しました。

温泉街は開いている店は少なかったですが、”温泉饅頭屋”が2件も待ち構えていました。

雨が上がった直後で人通りが少なく私達は格好の”獲物”？たちまち饅頭を口に放り込まれ！お茶を手渡されました。そして傘を取られて店内に引き込まれました。この商売上手！！と言うか強引さ！！は夜の町の客引きの手を思い出す程です！まいりました！！向こうの手にはまりましたが、長旅の途中と言って土産というよりおやつとして一人2ヶ分を会計より調達する事となりました。その店を出て100mも坂を登るとまた温泉饅頭を蒸す湯気が上がっています。ここでも試食させ様と饅頭を差し出して待ち構えていました。その店にはさすがに寄らず（2店目は強引さはありませんでした！味で勝負とも思えた！）渡された饅頭を皆で分けて味見しました。私は2件目の方が上品さを感じました。

饅頭屋の前を帰りにも通りましたが、さすが商売人、帰りの客には素っ気ないです！試食を渡す手も少ないです！でもKさんは行き帰りで4個も食べたとか。（^_^）v

尚 西の河原の紅葉と湯けむり！川は至る所から湯気が立ち上がる光景は写真の題材となる物です。うまく切り取れるかは腕次第ですけど・・・！（^）！



6 白根山の湯釜と雨上がりの紅葉

前日はガスの中を下った道路を今度は白根山へ向かって上りました。紅葉が雨で洗われてくっきり、遠くの山も雲海の上にはっきり稜線を見せて気持ちがいいです！駐車スペースで撮影タイムをとりました。白根山は湯釜のビューポイントまで登りました。わずか15分ですが百名山の一つを登った事にしました。Uさんの一山潰せて良かったですね！（^_^）v 雫が光るナナカマドがきれいでした。下山後は菅平への移動タイム。万座パークウエーを引き返します。ここでも前日ガスで気がつかなかった紅葉に感動！今期一番の”もこもこ感”の山肌を楽しめました。

7 ロッジデュールの第一印象と赤ワイン

二泊目の宿は”ロッジデュール”Fちゃんの骨折りで予約されました。「生協も利用している」という情報も聞こえてきたて少し期待していた所が有りましたが宿の外観や玄関の様子が少しさびれた感と、清潔感不足で第一印象は×！おまけにこちらの勝手の変更では有りますが、翌朝の朝食を”朝早くから準備できない”と言う理由で断られてしまいました。これには少し

閉口「ここはサービス業をしてませんね！」と思える仕打ちでした。私の邪推かもしれませんがFちゃんが食前の宴会で飲み慣れないお酒（Kさん差し入れの赤ワイン）を一気飲みし（横から見て珍しいな！と思った程でした）その後散歩ではフラフラだったとか。帰ってコタツの中で寝込んでしまった事はちょっとした責任意識からのストレス発散なのか？？と思った程でした。その後の夕食の内容や、平塚・・・の活動話で第一印象のホローはされた様な気はしましたが！！

8 根子岳ー四阿山ーリンゴの丸かじり

計算通りすっきり晴れた3日目、根子岳への登りは順調！でした。稜線を下った後の四阿山への急登は少し骨が有ったが皆さん楽々山頂へのぼりました。山頂からは前日の白根山や浅間山へ続く広大な山地が紅葉真っ盛り！ゆっくりお昼を食べながら至福の一時を過ごしました！ここでも麓で買ったリンゴの丸かじりが始まりました！直売所のリンゴは美味しい！皮付き毎丸かじりも美味しい！でも私は皮をむいた方が美味しかったです！（私は胃弱ですから(?_?)）

四阿山からの下山ルートは結構長かったです。谷沿いの林道へたどり着いた時そこからの方向がどうも変です！逆の方へ向かっているようだ！「引き返そう！」と思ったが地図とコンパスで確認しますと、下山最後に谷沿いを遡ってUターンする所が有りコースに間違いない事が確認されました。安心してゆっくり散策する様に歩きました。太陽が少し傾いて白樺に紅葉が映えます！最高の被写体でした！牧場のフェンス沿いをしばらく歩いてやっと下山しました。

出発時見つけていた牧場の「売店」へ直行しました。熱気が残る体に冷たいビールじゃない！がアイスと牛乳がとっても美味しかった。この一瞬は山登ならではの！

駐車場を出る時には必ず管理人が集金に来ますからと言われ、わざわざ引き返して宿の半額チケットを買いましたが誰もきませんでした。結局、損か得か分かりませんでした。(T_T)

9 高妻山

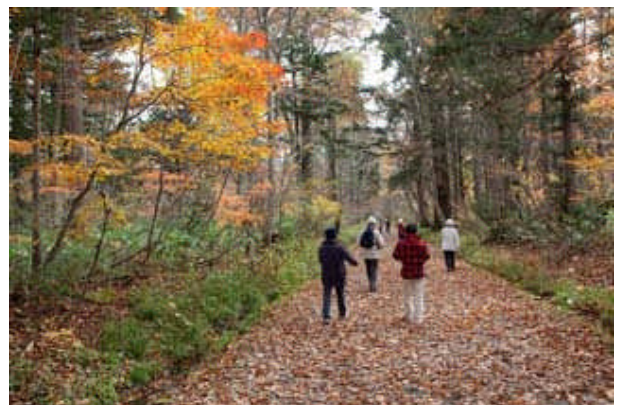
滝に近い急登の岩場に鎖が掛かっていました。岩が湿って、そこにかかる鎖も濡れていました。体重をかけると手が滑ります。滑らない前に足を踏ん張って高い所の鎖に捕まる様にのぼりました。登りより下りは足元が見えない分不安定でした。でも我がメンバーは女性を含め難なく通過しました。ここは他パーティがいたら相当渋滞する場所だろうと思いました。

分岐の”一不動”から高妻山の山頂まで各ピークに仏様の名前の祠がありました。先へ行く程位が高いとか・・・とにかく10以上のピークを登ったり下ったり、相当手強いアップダウンでした。山頂からは勿論360の展望！遠くには富士山！近くの戸隠は逆光でギザギザで黒くそびえ霊場、霊山を想像させました。十分山頂を堪能して下山となった。

10 戸隠神社 奥社

最終日は観光と言う事で中社、宝光社と神社めぐりをしました。そのあと鏡池で撮影タイム。

戸隠神社 奥社は戸隠山の登山口でした。神社まで真っ直ぐな参道を30分近く歩かないと参拝できません。深い山の麓は無信仰の私でも霊気と言うか、何か人知を越えた物に手を合わせたくなる所がありました。



11 リンゴ販売

初日に買ったリンゴが美味しかったです。 こんどは土産を買うため小布施へ向かう途中道ばたのリンゴ直売所に寄りました。何カ所か有った内のたまたま寄った”東園”は当たりだったのかも！表面が少しい色が変わった訳ありでは有ったが7～8個で500円！家族用の土産としては十分で美味しくいただきました。



12 小布施の町と竹風堂の栗強飯

岩松院の八方睨鳳凰図を拝観した後小布施の町で買い物とちょっと遅い昼食をとりました。 最初から”栗おこわ”と決めていましたが、行列の出来ていた竹風堂に決めました。 予約をして30分待ち。 席に座って30分待った。 でも待った甲斐が有りました。栗が沢山入って結構ボリュームもあり満足できました。良く考えると今回の5日の山旅でまともな昼食はこの日が初めてでした。(^_^;) 山行中だから仕方がないかも！ですが・・



この後帰路に着きましたが、松本までが意外と近く山に限らず訪れても良いかなと思えた小布施の町でした。 帰宅したのは予定通りの20時、最後までほとんどKさんに運転をして頂き、行きも帰りも楽をさせて頂きました。ありがとうございます。

皆さん楽しい山旅ありがとうございました。ご苦労様でした。